

アシナガバチの巣の駆除方法

夏から秋にかけて、住宅の軒先や庭木などに巣を作る最も一般的なハチが、アシナガバチです。

巣の大きさは、握りこぶしから手の平くらいで、下から見るといくつもの巣穴が見えるのが特徴です。

近くでハチが活動していると「怖い」「刺す」というイメージがありますが、アシナガバチは比較のおとなしく、進んで人を刺すことはありません。樹木の毛虫をとったり、花粉を運ぶなど、自然の中で大切な役割を果たしている虫なので、**むやみに駆除する必要はありません。**

しかし、玄関先や物干し場など、人が日常近づく場所に巣があり、どうしても駆除が必要な場合には、以下の方法で駆除することができます。

(作業が困難な高い場所などの場合はそもそも駆除の必要はありません)

初期の巣 5~6月

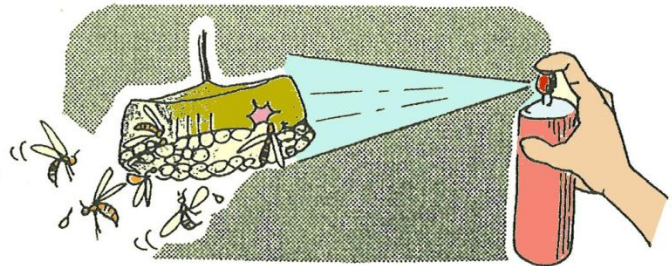
最盛期の巣



- ① 日没後1時間以上たってから作業を行う。**夜、ハチが巣に戻って落ち着いた時を狙います。



- ② 殺虫スプレーを吹きかける。**
(ハチ用のスプレーもありますがゴキブリ用などの一般的な殺虫スプレーで十分です)



- ③ 翌朝、巣の根元を切るか、棒などでたたき落とします。**



- ④ 落ちたハチの巣や死骸には**直接手を触れず**ちりとり等で集めて片付けます。**

